

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 斐太高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年5月26日(水) 13:30～15:15
- 3 開催場所 斐太高等学校 有斐会館 会議室
- 4 参加者

会長	水口 浩美	高山市役所国府支所次長
副会長	高木 和代	有斐会理事
委員	坂井 歩	高山自動車短期大学学長
	高村 正博	育友会長
学校側	溝際 清太郎	株式会社駿河屋魚一代表取締役社長
	大野 貴司	校長
	石原 秀三	事務部長
	大森 賢一	教頭(司会)
	奥田 和代	教務部長
	平野 昌之	進路指導部長
	中田 広孝	生徒指導部長
	中川 鉄紀	探究活動推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本年度の各教育活動の説明

説明事項

- ① 令和3年度学校経営計画(Future Planning・高等学校マニフェスト)、FRH事業の説明
- ② 各分掌の具体的取組(教務部・進路指導部・生徒指導部・探究活動推進部)の説明

意見1: 斐太高校における就職希望者は毎年どのくらいいるか。また、その生徒に対する指導はどのように行っているか。

⇒ 例年数名である。希望者と保護者に向けて説明会を行い、個別に相談にのっている。

意見2: コロナウイルス感染症の生徒に対する精神的な影響は目に見えてあるか。

⇒ 昨年度の1年生は4、5月に登校できず、昼食時も自由に話すことができなかつたため、学校に慣れるのが例年より大変であった。

意見3: 進路実績がこの3年間で一番よいのは、コロナで行事がなくなり、学習に専念できたからということはないか。

⇒ 2年生までの取組の中で一定の学力を身に付けていた生徒が多く、2か月の休校期間や8時間授業を乗り切ることができたと分析している。

意見4：缶詰めになって勉強ばかりするより、行事や部活動など、バランスよく経験できることは大変よいことである。これからも続けてほしい。

(2) 本校教育に対する提言

意見1：学校の取組については特に問題はない。このまま進めてほしい。SDGsについて学校の教育の中でどのように取り組んでいるか知りたい。

⇒ 探究活動の中で取り組んでいる。普段の授業についても意識して取り組んでいく。

意見2：取組について特に異論はない。入学する生徒は皆目的意識をもって入ってくる。それをどのように育てていくかが肝要である。成長のためには想像力が重要であり、その根本には国語力が不可欠であると思う。これらを大事にしてほしい。

意見3：(子供が在籍しているが、)学習に辞書等を使わなくなっていると聞いた。以前と比べて学習内容や方法に大きな違いはあるか。また、仕事の上では、解決方法が複数ある、つまり、「答」が複数あることが多いが、大学入試においては答えが複数あるということはあるのか。

⇒ 問題文の長文化により、読む力がより必要になっている。論理的に解を導き出す力が、現実のより複雑な問題を解決していくのに必要であると認識している。

タブレットを活用した授業を行っており、インターネットで調べることも増えている。

意見4：地域貢献事業等をみると、本当に高校生はしっかりした姿勢で意見を発表している。空き家利用コンテストで斐太高校の生徒が発表したが、プレゼンテーションの能力が大変高く感心した。こうした高い能力を持つ人材が飛騨地域に戻ってきてくれるよう、飛騨の魅力を伝えていくことが大事であると感じる。

意見5：大学卒業後、飛騨の企業に入社する人も増えてきた。さらに一旦他の地域で就職した方が飛騨地域に戻ってきてくれることを期待したい。地域活性化プログラムで素晴らしい発表をみるが、学校全体としては、この取組によって個々の生徒にもたらすものをどのように評価してきたか聞きたい。

⇒ これまでの取組の成果についてはさらに総括して次回に回答したい。

(3) スクールポリシーの策定について

学校：今年度からスクールポリシーを策定することになった。本日は、育てたい生徒像について伺いたい。意見よりグラデュエーションポリシーをまず定め、そこからカリキュラムポリシーやアドミッションポリシーを作っていくたい。

委員の意見 (集約したもの)

○育てたい生徒像（育成を目指す「資質・能力」）

- ・言語能力を備えた生徒
- ・思考力（低次思考力「記憶・理解・応用」はもとより、高次思考力「分析・評価・創造」）を備えた生徒
- ・創造力（新しい価値を生み出す力）を備えた生徒
- ・多様性を理解し柔軟に対応できる生徒
- ・主体性（物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動する力）を備えた生徒
- ・コミュニケーション力を備えた生徒
- ・問題（課題）解決能力を備えた生徒
- ・目標に向かって進む力、途中で目標を変更しても前向きに進める力、切り換えのできる力
- ・地域を大切にし、誇りに感じてもらえる生徒（他所にいても地域を思い起こせる）

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。今回頂いた意見をもとにスクールポリシーの原案を作成し、第2回の学校運営協議会で意見交換を行う中で作成を進めたい。